

洗脳蹂躪されし従者と変貌せし股呑姫  
～もぐもぐシフォン姫～

ガニュー

もう！

城中に  
張り巡らされた  
これは何…？

シフォン姫は  
きっと王室に  
向かってるはず

ええ！  
魔女を城から  
追い出さなきゃ！

早く姫様と  
合流しないと！

ダッダッダッダッ！



城内の人間は  
洗脳されこそすれ  
こちらに危害を  
加えなかった

それで何の  
障害も無く  
来れたけど

アంత馬鹿の  
魔女なの？

チツ

我が物顔で  
座ってるアంతは  
やる気あんの？

ようこそ  
シフォン姫

私の事は好きに  
呼んでください

ガッ





先に  
言っとくけど

あんたらが使う  
『粘液を使った』  
洗脳魔法もね

私に魔法は  
効かないわよ





姫様！  
間に合いました！  
魔女め覚悟しろ！！



乳首コリコリ！  
コリコリ！  
驚いたか魔女！

姫様直属の  
私たちは  
魔法耐性が  
高いのよ！

ほっほっ  
乳首ビンビン

くにくに！  
くにくに！

ほっ

はっ

ほっ

ほっ

シフォン姫！  
加勢します！  
共に乳首を  
弄りましょう！









ミルファイア  
.....あんな



まあ♡

ムム

ビッ

ビッ

ムワァ...

ポタ

ポタ

お姉様っ♡  
お帰りになって  
いたのですね♡

魔に墮とされた  
のねッ!?



うふふ♡  
乳首様との  
愛のためです



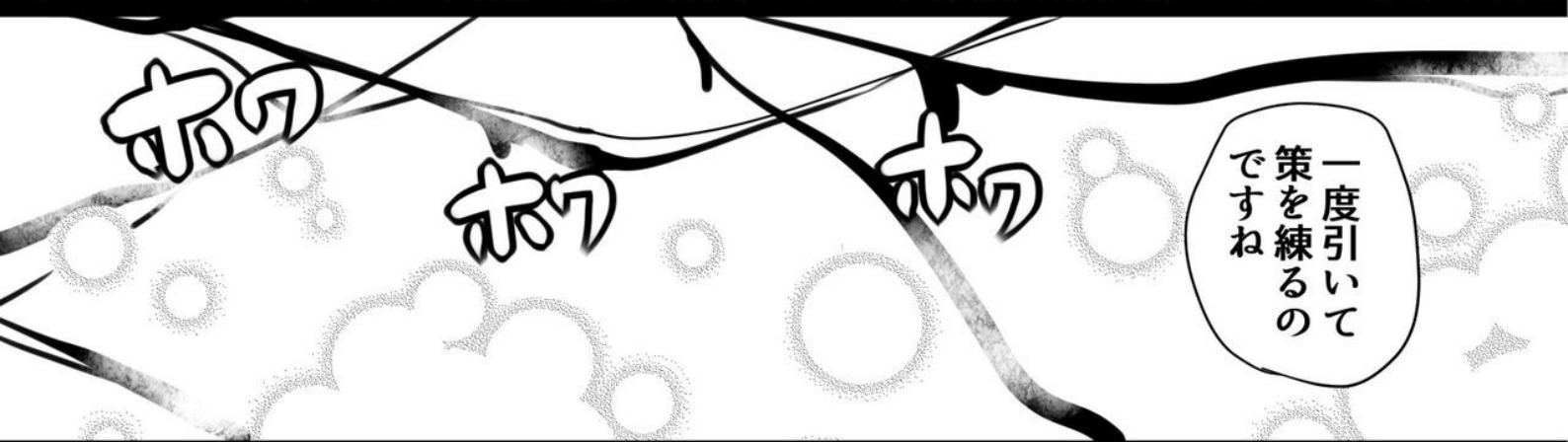
妹君からの  
墮落の影響は  
受け続けます

私たち魔女が  
手を下さずとも  
いずれシフォン姫は



私たちと  
『同じ』になる  
ことでしょう









姫が目覚めず  
半日が過ぎた…



姫は私たちの回復に  
力を使いすぎた…

姫が目覚めるまで  
すべき事をするわよ



もしシスターが  
無事なら連れてくるわ  
…教会が無事なら…  
だけど…



私は教会に行き  
回復薬を手に入れる

私は姫から  
離れすぎないように……  
転移したここが

魔法研究所の  
宿泊場所のようだから  
安全の確認と研究員など  
いれば協力してもらおう

やはり研究員は  
避難したか……

むむ!?

おおつきミは  
シフォン姫の側近の  
エルザではないか!?

えっ?



博士！  
無事だったん  
ですね！

ここも無人かと  
思っていました

タッ、タッ、タッ



いいや！  
ボクは洗脳され  
おかしい行動を  
取っていたのだ！

だがどういう訳か  
「正常な意識」を  
取り戻してな！

洗脳された時の  
記憶も活用して  
対抗魔法を開発  
したのだ！

ミィン





博士!!  
その姿は…  
まさか!?

それでこの  
研究員は全員  
「変えて」しまってたな!

エルザが来てくれて  
良かったのだ!



あはは♪  
たくさん  
吸うのだ♡

はにゅ  
はえ…

う…

耐…性  
がにやる

くっ  
ですが  
私には

ふわ

目覚めてから  
頭が冴えわたってな！  
魔女の研究に  
明け暮れていた日々が  
「どうでもよくなった」のだ♪

おしろ人間の可能性こそ  
崇高な研究になると  
確信したのだ♡

んによ♪  
ほろほろ♡

誘引愛液を  
舐めるのだ♡

トロ

ズ  
ズ  
ズ

ムフ

頭が上手く回らない…  
今は博士の言う通り  
舐めなきゃ…？

…あま…

甘い…甘い…♡  
それでいて  
いくらでも飲める  
風味が病みつきに…

アハ

病みつきに…!!♡

いいぞ♪

やはり  
一口舐めれば  
人間は即体液中毒  
確定なのだ

おい  
助手君♪

ギョ

グ

グ

グ

グ

グ









ん？

何か不満でも  
あるんですか？

ムッ

おむ

どうやら私の  
臭いも欲しい  
ようですわ

あえ…？

私の体臭は  
甘く蕩けるような  
博士の匂いと違って

メス臭さが強いですが  
そのまま嗅いで下さい

あっ息を止めても  
無駄ですよ？

依存性の高い  
匂いですから  
一嗅ぎすれば人間が  
逆らう事は出来ません

ムッ

グッ

そういう  
わけですが  
逆らえないと  
分かってても

体臭を  
嗅がせるのは  
やめませんが…

ひすらも  
どうぞ

では博士の  
元へどうぞ

良い感じに  
仕上がりました



ポタ

魔女と同等の  
存在になった  
ボクのマンコは

じゅわん

とろとろ

とろとろ

自在に洗脳改造液が  
出せちゃうのだ！♡

ドギ

ムワッ♡



ガッ

たっぷり  
たっぷり  
飲むのだ♡

んぽっ!♡

ゴボ

ぽん

んぽっ♡

むい





博士

なんだい  
助手君？



どんな使い魔に  
なるのか♡

ボクの腕の  
見せ所なのだ♡



エルザさんの  
下半身が寂しそう  
ですの…いえ



私もマンコ  
疼いてきたので  
使いますね

うむ♡  
前と後ろから  
たっぷり改造液を  
入れれるし効率的  
なのだ♡！







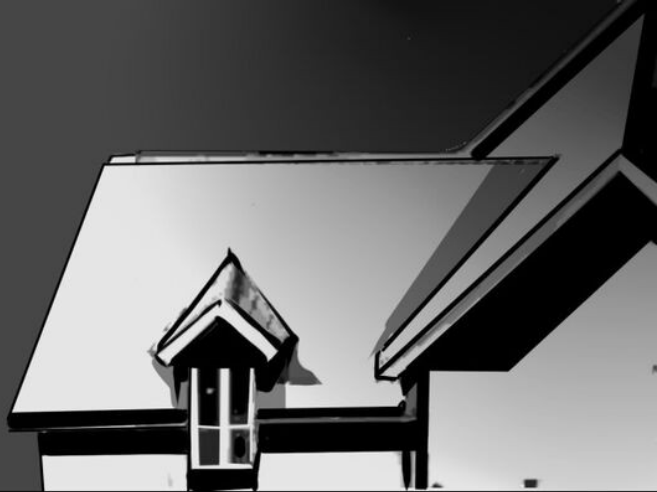






ごほっ…

安全な場所には  
…転移できてた  
みたいね



あの魔女…!!  
絶対に叩き潰して  
妹も城も取り戻して  
やるわ!

姫様!  
偵察から  
戻りました!

カチ



しばらくは  
無理そうね…  
力が出ない…

くそっ!

こんな無様な  
経験初めてだわ!









普通の人間なら  
こんなには掛けたら  
二度と目覚めませんが  
姫様なら大丈夫が  
だって姫様ですもん♡

綺麗な  
寝顔…♡

普段のツンツン顔  
との違いに私の  
マンコゆるゆるです♡

長旅で蒸れ蒸れの  
姫様まんこお…♡

プリンセススメル♡  
あつまくてくっさあ♡

んま♡



全身から姫臭  
漂わせてまさか  
私を誘ってるん  
ですか？♡

ジュー

腋も…  
スウ…  
ハア…♡

クワッ

もう♡

人間も使い魔も  
魔女だって  
腋まんこで倒せ  
ちやいますよ♡

クワッ

姫様も私と同じ  
変態使い魔に  
なれば王国の  
未来も安泰です♡

チュルルル

博士から  
受け継いだ  
改造唾液で  
ぶちゅキス♡

魔女様に勝つには  
魔女様に隷属して  
支配されれば勝て…

何か変な気が  
しますが多分  
重要な事じゃ  
ないですう♡

それよりも  
姫様の唾液  
んま♡んちゅ♡

ぶちゅ

じゅる

んじゅ♡  
れろれろ♡



意識は無いのに  
体はムラムラ♡



姫様♡  
いけないお汁  
飲んじやいました  
ねえ♡



えへ♡  
えへ♡  
えへ♡



改造をスムーズに  
するのにおまんこ  
ほぐしましょうね♡



くちゅ  
くちゅ  
くちゅ♡

わっ♡





では改造粘液を  
どろどろ増量♥



手だけで  
飲ませるなんて  
失礼しました♥

腕ごと♥

ドチュッ



飲んじやって  
ください♥



姫様簡単に  
白旗潮吹きする  
なんて♥

はっ!?これは  
おまんこからも  
グビグビお汁  
飲ませてゝって  
いってるんですね♥

ん



ふわ...

ん

ぽ

ぽ

ぐ

ん♡

改造汁と

ロイヤル汁が  
混ざりあって

...わあ♡

すっごく  
美味しそう♡





ん……

なんだ

夢じゃなかった  
みたいね……

!?

本来なら極刑もの  
だけどアンタの  
懸命な『治療行為』に  
免じて許してあげる

アンタ  
この高貴な私の  
体に雌臭いだの  
言ってたわね





あん♡

子宮へご奉仕?♡

さすが私の従者♡  
『記憶』に『能力』も  
捧げるなんて  
偉くて可愛いわ♡

モグモグ♡

モグ♡

ムグ♡

ビュン

ビュン

もぐもぐもぐ...  
美味しい...♡

モグモグ

ああん...♡  
たつぷり  
もぐもぐして♡

あなた好みの  
存在に変えて  
あげる♡

ズブ

ズブ

ポーン♡







たっぷり私の  
力を混ぜこんで...♡

よっ♡

ちあ♡

出てきなさい♡



おっ...♡

グア

ドジャ

ザッ

おおおん♡

スンスン♡!

ムワ

じゅぱ♡

ベド

フキ

ビ

私の臭いで  
発情するん  
だから

アンタ好みの雌臭を  
自ら出せるように  
してあげたわ♡

うへへ♡

ヌチ

ヌチ



ほろ♡

かわ♡

じゅろ!♡

あはは♡  
最高に無様で  
可愛い♡

姫の香しい  
腋臭を嗅ぎ  
なさい♡

私の従者…国民に  
ふさわしいわ♡

あはははは♡

あふ♡  
あえ♡

ブルブル!









まったく手間の  
掛かる子ね♥

魔女に出会ったら  
どうするつもり？  
固まって行動しな  
きゃ駄目よ♥



さあ  
分かった  
かしら♥



ほら



もぐ

もぐ♥

ルル...

ドル

考えが足りま  
せんでした♡

しゅみましえん♡

とっ!!

でも足りない頭を  
もぐもぐして  
もらったので♡

おあ~♡

ムア

スツキリ  
きらきら♡

世界が輝いて  
見えます♡

グチュ  
グチュ

グチュ  
グチュ  
グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ





ええ♥  
私の国民  
だもの

洗脳されてても  
洗脳されていない  
国民も全員もぐもぐ  
してあげなきや♥

自ら考える  
必要のない  
幸せな日々を  
送らせるわ♥

魔女にも負けないわ  
ミルフィアもみんな  
もぐもぐして私が導くわ  
♥





やはり

チュッ

チュッ

チュッ

チュッ

シフォン姫は  
魔女に至る資格が  
ありました

んっ♡

歪められた思想で  
どんな統治が  
行われるのか

楽しみですよね

ミルファイア姫

ふぁい  
♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡





同じ匂いが  
するわね♡

あら…  
確かに♡

ぬちゅ♡

ぬち♡



シフォン姫…  
いえ魔女シフォン!

我々は魔女を  
浄化します!



貴女に付き従えた  
大事な妹も死んで  
私は許しません!



それに…死?  
面白いわね?  
アンタの後ろに  
いるのは誰なの  
かしらね?♡

え?

ガッ

姫さま♡  
コレは新しい  
入信希望者  
ですわ♡

あなたも姫さまに  
もぐもぐ♡  
してもらえば  
幸せになれるッ♡

くっ！  
離しなさい！

それに  
なんなのですか  
モグモグとは!?

人々を救う神聖な儀式  
アンタも余計なモノを  
持ちすぎのようね？♡

ちゃんと聖なるおまんこで  
モグモグして救ってあげる♡

おまん……？

ぶちや

な…何を  
するつも…





ん



ここは…  
教会？



私…ああ夢で  
良かった…！

お仕えする

シフォン神に

牙をむくなんて…

ありえません！

は  
らっ



んっ♡おまんこが  
気持ち良く…ただ  
ほじほじしている  
だけなのに…♡

これもシフォン神の  
御力…ほじほじ…♡  
民に広めなくては♡



悪夢を見るなんて  
信仰が足りないの  
でしょうか…

おまんこを  
ほじって  
信仰を…♡

ぐちゃ  
ぐちゃ  
くちゃ  
くちゃ

